

# 歷代教授



## 初代 旭 憲吉 教授

明治39年(1906)10月～昭和5年(1930)1月

- 明治7年(1874)1月14日 京都府にて出生  
明治32年(1899)12月 東京帝国大学医学科卒業  
明治33年(1900)2月 東京帝国大学医科大学助手  
(皮膚病学黴毒学教室)  
明治36年(1903)5月 3カ年のドイツ留学を命ぜられる  
明治36年(1903)12月 京都帝国大学福岡医科大学助教授  
(在独のまま)  
明治39年(1906)10月 京都帝国大学福岡医科大学教授  
(皮膚病学黴毒学講座)  
明治39年(1906)11月 診療・講義を開始  
大正8年(1919)1月 九州帝国大学医科大学附属病院長  
(任期2年)  
昭和3年(1928) 日本皮膚科学会会頭(死去まで)  
昭和5年(1930)1月22日 逝去(56歳)

官位：従三位(昭5) 叙勲：勲二等瑞宝章(昭2)



第2代 皆見 <sup>せいご</sup> 省吾 教授

昭和6年(1931)4月～昭和23年(1948)4月

- 明治26年(1893)11月1日 広島市にて出生  
大正7年(1918)12月 東京帝国大学医科大学卒業  
大正8年(1919)1月 東京帝国大学医科大学教室入局  
(皮膚科)  
大正11年(1922)6月 文部省在外研究員として渡欧  
大正13年(1924)8月 帰朝  
大正13年(1924)10月 岡山医科大学教授(皮膚科)  
昭和6年(1931)4月 九州帝国大学医学部教授(皮膚科)  
昭和17年(1942)6月 九州帝国大学医学部附属病院長  
(任期2年)  
昭和23年(1948)4月 九州大学退官・福岡市にて開業  
昭和25年(1950)5月 九州大学名誉教授  
昭和35年(1960)4月 日本皮膚科学会名誉会員  
昭和50年(1975)9月6日 逝去(81歳)

官位：従三位(昭50) 叙勲：勲三等(昭50)

受賞：日本医師会最高優功賞(昭41)



### 第3代 樋口謙太郎 教授

昭和23年(1948)10月～昭和46年(1971)3月

明治40年(1907)5月14日 福岡県三井郡小郡町にて出生  
昭和9年(1934)3月 九州大学医学部卒業  
昭和9年(1934)5月 九州帝国大学医学部副手(皮膚科)  
昭和11年(1936)8月 九州帝国大学医学部助手(皮膚科)  
昭和12年(1937)12月 九州帝国大学医学部講師(皮膚科)  
昭和13年(1938)8月 釜山府立病院科長(皮膚科)  
昭和17年(1942)2月 九州帝国大学助教授(皮膚科)  
昭和18年(1943)8月 ジャカルタ医科大学教授(皮膚科)  
昭和21年(1946)7月 大村国立病院医長(皮膚科)  
昭和22年(1947)12月 久留米医科大学教授(皮膚科)  
昭和23年(1948)10月 九州大学教授(皮膚科)  
昭和40年(1965)4月 九州大学医学部附属病院長(2期4年)  
昭和46年(1971)3月 定年退官  
昭和46年(1971)4月 九州大学名誉教授  
昭和47年(1972)4月 福岡大学医学部教授、福岡大学医学部長  
昭和48年(1973)12月 福岡大学病院長  
昭和53年(1978)3月 福岡大学定年退職  
昭和53年(1978)4月 福岡大学特任教授  
平成6年(1994)3月8日 逝去(86歳)

叙勲：勲二等瑞宝章(昭53)

受賞：日本皮膚科学会皆見賞(昭29) 西日本文化賞(昭36)



#### 第4代 占部 治邦 教授

昭和46年(1971)7月～昭和62年(1987)3月

- 大正13年(1924)1月17日 福岡市にて出生  
昭和23年(1948)9月 九州大学医学部卒業  
昭和24年(1949)4月 九州大学大学院特別研究生(皮膚科)  
昭和29年(1954)4月 九州大学医学部助手(皮膚科)  
昭和29年(1954)5月 九州大学医学部講師(皮膚科)  
昭和30年(1955)4月 九州大学医学部助教授(皮膚科)  
昭和36年(1961)1月 久留米大学医学部教授(皮膚科)  
昭和46年(1971)7月 九州大学医学部教授(皮膚科)  
昭和58年(1983)4月 九州大学医学部附属病院長  
(任期2年)  
昭和62年(1987)3月 定年退官・占部医院(福岡市)を継承  
昭和62年(1987)4月 九州大学名誉教授

叙勲：勲二等瑞宝章(平12)



## 第5代 堀 嘉昭 教授

昭和62年(1987)10月～平成8年(1996)12月

- 昭和8年(1933)12月26日 東京都にて出生
- 昭和35年(1960)3月 東京大学医学部医学科卒業  
(東京大学にて実地修練)
- 昭和36年(1961)5月 東京大学医学部入局(皮膚科)
- 昭和40年(1965)4月 東京大学医学部助手(皮膚科)
- 昭和40年(1965)6月 国家公務員共済組合 虎ノ門病院医員(皮膚科)
- 昭和41年(1966)6月 東京大学医学部助手(皮膚科)
- 昭和41年(1966)9月 米国ハーバード大学医学部リサーチフェロー  
(皮膚科)(昭和44年2月まで)
- 昭和46年(1971)1月 北里大学医学部助教授(皮膚科)
- 昭和53年(1978)1月 東京大学医学部助教授(皮膚科)  
東京大学医学部附属病院分院科長(皮膚科)
- 昭和58年(1983)4月 山梨医科大学教授(皮膚科)
- 昭和62年(1987)10月 九州大学医学部教授(皮膚科)
- 平成8年(1996)12月 定年退官・麻生セメント飯塚病院長  
(平成11年9月まで)
- 平成12年(2000)3月5日 逝去(66歳)

受賞：日本リディアオリリー協会・清寺真記念賞(昭61)



第6代 古江 増隆 教授

平成9年(1997)10月～

昭和31年(1956) 1月18日 鹿児島県始良郡牧園町にて出生  
昭和55年(1980) 3月 東京大学医学部卒業  
昭和55年(1980) 6月 東京大学医学部皮膚科入局  
昭和59年(1984) 6月 関東通信病院皮膚科  
昭和60年(1985) 6月 東京大学医学部助手(皮膚科)  
昭和61年(1986) 3月 米国 NIH 皮膚科部門留学  
昭和63年(1988) 7月 東京大学医学部助手(皮膚科)  
昭和63年(1988) 12月 東京大学医学部講師(皮膚科)  
平成4年(1992) 2月 山梨医科大学助教授(皮膚科)  
平成7年(1995) 5月 東京大学医学部助教授(皮膚科)  
平成9年(1997) 10月 九州大学医学部教授(皮膚科)  
現在に至る